

平曲と人形浄瑠璃が描く

俊寛

鹿ヶ谷での平家打倒の密議が発覚し、俊寛僧都は丹波少将成経、平判官康頼とともに鬼界が島の流人となる。三年が過ぎ、都から恩赦の使いが到着するが赦免状に俊寛の名は無かった。

孤島に一人残された俊寛の悲しみは平家物語、能人形浄瑠璃、歌舞伎の題材となり今も度々上演されています。今回は原典である平家琵琶の弾語りと近松門左衛門作の人形浄瑠璃でお楽しみ下さい。

平家琵琶「足摺」あしずり（平家物語 卷第三）

前田流平家琵琶 橋本敏江門下 鈴木孝庸

人形浄瑠璃『平家女護島』へいけによごのしま 鬼界が島の段
浄瑠璃 渡部八太夫 人形 猿八座

二〇一七年三月十一日(土)、十二日(日)

会場：新潟大学 駅南キャンパス「ときめいと」(プラーカ① 二階)

主催：新潟大学 人文学部 附置 地域文化連携センター



大阪芝居番附(部分 一八五九年)

要予約 全自由席
入場無料です

予約受付・お問い合わせ
メール: (3月8日まで)

kurihara@human.niigata-u.ac.jp

件名に「俊寛申し込み」とお書きください。

3月11日 1回目開場 10:30 開演 11:00 2回目開場 14:00 開演 14:30
12日 1回目開場 10:30 開演 11:00 2回目開場 13:30 開演 14:00 上演時間約2時間